

2-1-5. Backup Exec for Windows Servers

Backup Exec for Windows Servers (以下、Backup Exec)はネットワーク環境に分散するデータを自動的にバックアップするクライアント・サーバ型バックアップシステムです。小・中規模構成でお使いいただくことを想定して設計されたソフトウェアで、Windows プラットフォームに対応しています。

Backup Exec の最新バージョンは Backup Exec 20 です。Backup Exec 20 のインストール媒体は以下の Veritas Technologies LLC 社サイトからダウンロードするかメディアキットをご購入ください。

<https://www.veritas.com/ja/jp/product/backup-and-recovery/backup-exec>

- 評価版として公開されていますが、製品版と媒体内容は同じです。ライセンスキーを登録せずにインストールすると、評価版として 60 日間の試用が可能です。

Backup Exec の詳細につきましては、<http://jpn.nec.com/backup/backupexec/> をご確認ください。

製品体系

Backup Exec for Windows Servers は以下の種類のライセンスモデルがあります。用途にあわせ、最適なライセンスを使用してください。

- ・単体ライセンス
- ・容量ライセンス

※単体ライセンスと容量ライセンスを混在して使用することはできません。

1. 単体ライセンス

単体ライセンスでは、保護対象や使用する機能・用途に合わせてライセンスを選択します。

■ Backup Exec for Windows Servers 本体製品

■ Backup Exec 20 for Windows Servers

Microsoft Windows Server 2019/2016/2012 R2/2012/2008 R2/2008(SP2) にインストールし、ローカルシステムを保護することができます。スタンドアロンドライブとシングルドライブロボティックライブラリ(ドライブ 1 台の集合装置)をサポートし、使用可能なストレージデバイスの台数に制限はありません。さらに、障害復旧機能である Simplified Disaster Recovery オプションと Advanced Open File オプションが標準で添付され、より柔軟なシステム保護が可能となっております。

【注意】Symantec Protection NetWork(SPN)および Symantec EndPoint Protection との連携機能は、廃止になりました。

■ Library Expansion オプション

集合型/ライブラリ型テープ装置を使用するためのオプションです。集合型/ライブラリ型の各テープ装置に内蔵されているテープドライブ数が 2 台以上の場合に購入する必要があります。

1 ドライブ分の使用権は本体製品に含まれますが、2 ドライブ目以降を使用する場合は本オプションが必要です。たとえば、テープドライブを 2 ドライブ内蔵したライブラリ型装置を 3 台使用する場合は、 $(2-1) \times 3 = 3$ つの LEO ライセンスが必要です。

単体テープ装置、およびテープドライブを 1 台のみ内蔵した集合型/ライブラリ型装置を使用する場合は、使用する装置の台数に関わらず LEO は必要ありません。

■ Windows エージェント (Agent for Windows Systems)

リモートの Windows サーバのバックアップおよびリストアを可能にします。Backup Exec 2012 より Advanced Open File オプションのライセンスが標準でバンドルされたため、より柔軟なバックアップが実現可能となりました。

■ アプリケーション&データベースエージェント

Backup Exec 2012 から、下記エージェント製品が「アプリケーション&データベースエージェント」に統合されました。

● Oracle エージェント

Oracle エージェントは、12cR2/12cR1/11gR2/11gR1/10gR2/10gR1 の Oracle Recovery Manager (Oracle RMAN) 経由でのオンラインバックアップを可能にします。

【注意】 すべてのバージョンの Oracle RAC、Oracle ASM には対応しておりません。

● Microsoft Exchange Server エージェント

Exchange Server 2019/2016/2013/2010 のオンラインバックアップを可能にします。

● Microsoft SQL Server エージェント

SQL Server 2017/2016/2014/2012/2008R2/2008/2005 のオンラインバックアップを可能にします。また、データベースの整合性チェックを、人手を介することなく実現できます。さらに、マスタデータベースのリストアがバックグラウンドで実施されるため、データベース利用者に復旧作業であることを意識させることなく、復旧を実行できます。

● Microsoft SharePoint Server エージェント

SharePoint Server 2016/2013/2010 のオンラインバックアップを可能にします。

● Active Directory エージェント

サービスを中断することなく Active Directory データのバックアップ、リストアを可能にします。また、システムの再起動なしにユーザアカウントやオンラインの個別属性といったオブジェクト単位での柔軟なリストア処理が可能です。

Active Directory 2016/2012R2/2012/2008R2/2008(SP2)に対応しています。

【注意】 Backup Exec 15 FP4 より Lotus Domino Server に対応するエージェントは廃止されました。

■ Enterprise Server オプション

● Advanced Disk Backup オプション (ADBO)

Advanced Disk Backup オプション(ADBO) は、ディスクへのバックアップ機能を拡張するオプションです。Backup Exec for Windows Servers の独立したアドオンコンポーネントとしてインストールします。ADBO は次の機能を備えています。

合成バックアップ

ベースラインのバックアップと後続の増分バックアップを組み合わせ、バックアップを合成することができます。この機能を使用すると、完全バックアップ(フルバックアップ)を実行する必要がなくなります。また、合成は Backup Exec メディアサーバ上でリモートコンピュータにアクセスせずに実行されるため、クライアントのバックアップウィンドウとネットワークトラフィックが削減されます。

【注意】 合成バックアップに用いる増分バックアップはアーカイブビットを使用した増分バックアップのみ使用可能です。

True Image Restore

ディレクトリの内容を完全バックアップまたは増分バックアップの実行時の状態にリストアすることができます。リストアする内容は、特定のバックアップ時点で存在していたディレクトリから選択されます。バックアップの時点において削除されていたファイルはリストアされません。

■ VMware and Hyper-V エージェント

VMware 仮想マシンおよび Hyper-V 仮想マシンをバックアップするためのライセンスです。

● VMware Virtual Infrastructure エージェント

VMware ESX サーバにおける、vStorage APIs を使用したバックアップを可能にします。GUI からの操作でバックアップを設定できます。また、vStorage APIs でゲスト OS のフルバックアップとして取得されたデータから、ファイル単位でリストア可能です。

【注意】 VMotion 環境では、バックアップおよびリストア中に仮想マシンを移動した場合の動作は保障されません。バックアップおよびリストア中に仮想マシンが移動した場合は、手動で再実行してください。

● Microsoft Hyper-V エージェント

Hyper-V 環境における仮想マシンのバックアップを可能にします。Windows が持つ Volume Shadow Copy Service (VSS) 機能を使用し、仮想マシンを構成するファイル(.vhd、.vmc ファイル等)をオンラインバックアップすることができます。また、仮想マシンのフルバックアップとして取得されたデータから、ファイル単位でリストアすることも可能です。

【注意】 LiveMigration 環境では、バックアップおよびリストア中に仮想マシンを移動した場合の動作は保障されません。バックアップおよびリストア中に仮想マシンが移動した場合は、手動で再実行してください。

■ 重複排除オプション

重複排除オプションは、物理環境に加えて仮想環境においても、バックアップデータを最小限におさえることで、ネットワークの負荷軽減及びストレージ容量を圧縮します。

ファイルサーバやアプリケーションサーバで重複排除してネットワーク負荷を軽減したり、バックアップサーバで重複排除して業務サーバの負荷を軽減したりするなど、環境や目的にあわせて重複排除方式を選択できます。

2. 容量ライセンス

容量ライセンスでは、クライアント上のバックアップ対象データ総容量に基づいたライセンス課金となります。
バックアップ対象のデータ容量 1TB につき、ライセンスが 1 つ必要です。

■ Capacity エディション/ Capacity エディション Lite

下記表の本体製品および各オプション・エージェント製品が、本ライセンスを購入した容量分使用可能です。

[各エディションで利用できる範囲]

製品機能/対象		Capacity エディション	Capacity エディション Lite
保護対象	仮想	○	○
	物理	○	○
	クラウド	○	○
プラットフォーム	Windows	○	○
	VMware	○	○
	Hyper-V	○	○
アプリケーション	Microsoft Exchange	○	○
	Microsoft SQL Server	○	○
	Microsoft SharePoint	○	○
	Active Directory	○	○
	Oracle	○	○
合成バックアップ、Ture Image Restore		○	-
重複排除		○	-
スタンドアロンテープ装置		台数無制限	台数無制限
物理テープドライブライブラリ		複数ドライブ	単一ドライブ
仮想テープドライブライブラリ		複数ドライブ	単一ドライブ

[各エディションに含まれるエージェント/オプション]

エージェント/オプション	Capacity エディション	Capacity エディション Lite
Backup Exec 基本ライセンス	○	○
Windows エージェント	○	○
アプリケーション & データベースエージェント	○	○
VMware & Hyper-V エージェント	○	○
Library Expansion オプション	○	-
Enterprise Server オプション	○	-
重複排除オプション	○	-

■ Gold エディション/ Silver エディション/ Bronze エディション

下記表の本体製品および各オプション・エージェント製品が、本ライセンスを購入した容量分使用可能です。

[各エディションで使用できる範囲]

製品機能/対象		Gold エディション	Silver エディション	Bronze エディション
保護対象	仮想	○	○	○
	物理	○	○	○
	クラウド	○	○	○
プラットフォーム	Windows	○	○	○
	VMware	○	○	○
	Hyper-V	○	○	○
アプリケーション	Microsoft Exchange	○	○	-
	Microsoft SQL Server	○	○	-
	Microsoft SharePoint	○	○	-
	Active Directory	○	○	-
	Oracle	○	○	-
合成バックアップ、Ture Image Restore		○	-	-
重複排除		○	○	○
スタンドアロンテープ装置		ドライブ数無制限	最大 4 ドライブ	1 ドライブまで
物理テープドライブライブラリ		ドライブ数無制限	最大 4 ドライブ	-
仮想テープドライブライブラリ		ドライブ数無制限	-	-

[各エディションに含まれるエージェント/オプション]

エージェント/オプション	Gold エディション	Silver エディション	Bronze エディション
Backup Exec 基本ライセンス	○	○	○
Windows エージェント	○	○	○
アプリケーション & データベースエージェント	○	○	-
VMware & Hyper-V エージェント	○	○	○
Library Expansion オプション	ドライブ数無制限	最大 4 ドライブ	スタンドアロン テープ装置のみ
Enterprise Server オプション	○	-	-
重複排除オプション	○	○	○

購入のポイント

1. システム・データ復旧を考慮した製品選択

バックアップ製品の目的はシステム・データの復旧です。どの時点のデータでシステムを復旧すべきか十分検討いただいた上で、バックアップ運用を行ってください。その上で必要となるライセンス・製品をお求めいただけますようお願いいたします。

2. 対象機種

Express5800/100 シリーズ

Express5800/50 シリーズ(リモートエージェントのみ)

※CLUSTERPRO 環境では、Simplified Disaster Recovery(SDR) はサポートしていません。

NEC Cloud IaaS 仮想サーバーサービス(HA/STD)

NEC Cloud IaaS 物理サーバーサービス[Xeon、Atom]

※クラウド環境におけるサポート範囲の詳細につきましては、弊社営業にお問い合わせ下さい。

3. 動作環境 OS

2019 年 4 月 9 日時点

対応 OS	Windows Server 2019 (*2,4) Windows Server 2016 Server Core (*1,2,4) Windows Server 2016 (*2,4,7) Windows Server 2012 R2 Server Core (*1,2,4) Windows Server 2012 R2 (*2,4,7) Windows Server 2012 Server Core (*1,2,4) Windows Server 2012 (*2,4,7) Windows Server 2008 R2 Server Core SP なし/SP1 (*1) Windows Server 2008 R2 SP なし(*1,3)/SP1 (*3,7) Windows Server 2008 Server Core SP2 (*1) Windows Server 2008 SP2 (*6)
	Windows Storage Server 2016 (*2,7) Windows Storage Server 2012 R2 (*2,7) Windows Storage Server 2012 (*2,7) Windows Storage Server 2008 R2 SP1 (*3,5) Windows 10 (*1,4,7) Windows 8.1 (*1,4,7) Windows 8 (*1,4,7) Windows 7 SP1 (*1,7) Windows Vista SP2 (*1) ※ Backup Exec サーバでは、64bit OS のみサポート クライアントでは、64bit OS と 32bit OS をサポート
注釈(*)	1 クライアントのみであり、メディアサーバとしては使用できません
	2 ReFS ボリュームまたは、重複排除が有効になっているボリューム上には、Backup Exec や Agent for Windows はインストールできません
	3 Backup Exec のインストール中、特定バージョンの .Net Framework が必要である旨のメッセージが表示される場合があります。その場合は指定バージョンの .Net Framework をインストールしてください
	4 UEFI セキュアブート環境における Backup Exec の使用は(使用する機能に関わらず)未サポートです。セキュアブートを使用しない UEFI ブート環境における Backup Exec の使用はサポートしています
	5 Simplified Disaster Recovery(SDR)は未サポート
	6 Simplified Disaster Recovery ディスクイメージ(.iso)の作成が可能(64bit OS のみ) ディスクイメージの作成には、Microsoft Assessment and Deployment Kit (ADK) 8.1 が必要
	7 Simplified Disaster Recovery ディスクイメージ(.iso)の作成が可能(64bit OS のみ) ディスクイメージの作成には、Microsoft Assessment and Deployment Kit (ADK) 10 が必要

※ 上記以外にも、制限事項により使用できない場合もあります。

詳細は <http://jpn.nec.com/backup/backupexec/> をご確認ください。弊社営業にお問い合わせください。